

平成 21 年 度

# 町 政 執 行 方 針

平成 21 年 3 月

喜 茂 別 町

## 1 基本方針

## 2 分野別重点施策

(1) 生活環境の向上

(2) 産業の振興

(3) 保健福祉サービスの充実

(4) 人材の育成・コミュニティの充実

## 3 むすび

## 1 基本方針

平成21年喜茂別町第1回定例会の開会にあたり、平成21年度の町政執行に当たっての所信と重点施策の概要を申し上げ、町議会と町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

昨年のアメリカの金融危機に端を発した世界同時不況は、我が国はもとより、北海道の経済・景気にも深刻な影響を与えており、本町においても、不透明な先行きに生活者の不安が募っております。

こうした中、国においては、「生活者」「中小企業」「地方」の三つに重点を置き、生活防衛のための緊急対策として地方交付税を1兆円増額するなど雇用や地域の元気回復に対する地方財政対策を講じているところであります。

しかしながら、先行き地方財政を取り巻く状況は厳しいものがあり、今後の地方交付税などの動向に引き続き注視をしていかなければならない状況にあります。

本町においては、これまで町政の最優先課題として取り組んできた合併新法下での市町村合併を断念せざるを得なくなったことから、以前にも増して行政の効率性を高めるなど単独自治体として健全な行財政運営を行う展望を町民の皆様にお示ししていく必要があるものと考えております。

また、現在、第29次地方制度調査会において基礎自治体のあり方について検討され、この秋には答申が出される予定となっており、今後の自治体運営に大きな変化がもたらされることが想定されますことから、本格的な地域主権型社会の到来に備えた行財政体制の整備にも努めていかなければならないものと考えております。

一方で、合併を模索しながらも、地域の自立、活性化の基盤づくりとして平成18年度から事業展開してきたまちづくり交付金事業が、いよいよピークの年を迎えることとなります。

今後の町の行財政運営に当たりましては、町村合併で議論していただいた現状分析や地域づくり構想の成果を生かして、町民の皆様の参

加もいただきながら、単独自治体として健全な行財政運営を行うためのプランづくりを進め、これまで以上に効率的な業務の執行に努めるとともに、事務事業のさらなる見直しを進めてまいります。

私は、この一年を本町の将来にとって重要な節目ととらえ、「ふるさと喜茂別に希望という架け橋をかける一年」と位置づけ、町民の「暮らし」と「未来」に希望を広げていく町政を展開してまいります。

以上、平成21年度の町政執行を進める上での基本的な考え方を述べさせていただきました。

以下、この基本を踏まえて分野別の重点施策について簡潔に説明させていただきます。

## 2 分野別重点施策

### (1) 生活環境の向上

本年度の道路整備につきましては、国や道が進める国道230号線交差点改良事業の早期完成を要請するとともに、まちづくり交付金を活用した町道2条通り線の改良舗装工事の継続と末広町5号線に通じる新設道路の整備を進め、交通渋滞等により人や車の往来に支障があるとの住民の方々のご要望に応え、地域の交通安全の確保を図ってまいります。

さらに、建築事業としては、これまで繰り延べしてきた生活改善センターの老朽化対策としてセンターを取り壊して、その跡地に新たに子育て支援機能と町民の集会機能を兼ね備えた多目的町民センターを建設し、農村環境改善センターやふれあい福祉センターなどの既存施設の有効活用も図りながら、子育て環境の充実や町民の様々な活動が一層活発に展開されるよう取り組んでまいります。

また、仮称「郷の駅きもべつ」のトイレ・インフォメーションセンターを完成させ、国、道、商工会や商業スペースに進出する民間テナントとも連携して、新しい町のシンボルとして街並み整備を図ってまいります。

住宅施策につきましては、老朽化が進む公営住宅の品質を確保するため外壁及び屋根の塗装工事を計画的に進め、本年度、緑町団地1棟の塗装改修を実施するとともに、本町における公営住宅の今後の姿について検討を行ってまいります。

町民の憩いの場であり、健康増進に資するための場である町民公園につきましては、昨年度に引き続きパークゴルフ場のコース整備を行うとともに、乗用芝刈り機を更新して、町内外の皆様にもいつでも気持ち良く利用してもらい、より親しまれるよう環境整備に取り組んでまいります。

また、公園遊具の点検、補修等に注意を払い、来園者が安心して利用していただける公園となるよう努めてまいります。

簡易水道事業につきましては、引き続き、地域や団体の皆様のご意見を伺いながら水道料金の統合に向けて取り組むとともに、安全な水を未来の世代まで提供できるような今後の事業運営の在り方について検討を進めてまいります。

公共下水道事業については所期の目的を達成しつつありますことから、今後は公共下水道整備区域外の合併処理浄化槽等による対応について、地域の意向調査を行いながら検討を進めてまいります。

一般廃棄物処理対策につきましては、ゴミの減量化やリサイクルの推進を一層図り、収集委託業務の見直しを進めるとともに、羊蹄山麓町村による広域処理について、供用期限が平成27年3月までとなっている倶知安町の焼却施設に代わる新たな広域施設整備を関係町村と連携して進めてまいります。

また、現在休止している喜茂別町の焼却炉の施設については、地域の安全確保のために早期に撤去する方向で検討を進めてまいります。

さらに、国の平成20年度第2次補正予算を受けて実施する光ファイバー網整備事業により、地上デジタル放送の難視聴世帯の解消に努めるとともに、インターネットブロードバンドサービス提供エリアを町内全域に拡大し、高度な情報通信基盤を活用した地域情報化の取り組みを進めます。

## (2) 産業の振興

本町の基幹産業である農業については、昨年の原油・資材価格高騰により経営に深刻な影響を受けましたが、一方で、産地偽装や残留農薬の問題からより安心・安全な農産物の生産が強く求められているところでもあります。

こうした状況から、省エネルギー・省資源型農業生産体系への構造転換及び食の安全確保に向けた取組強化のため、施肥体系転換土壌分析推進事業の実施、地力維持増進対策事業の拡充、土壌残留農薬事前調査事業の継続実施を行ってまいります。

また、温床除雪・融雪剤散布への支援を行い、早期播種・早期出荷による生産性の向上及び農業経営の安定化を図ります。

また、国においては食糧自給、耕作放棄地の改善や農業後継者の育成などに取り組んでいるところであり、本町においても、次代に向けた健全な農業の振興が重要な課題であると受け止め、平成20年度から実施してまいりました新規作物導入チャレンジ事業の拡充を行い、高収益作物導入の可能性を探るとともに、農業者や関係団体との理解や協力を得て、農用地の改良等について検討を進めてまいります。

商工業の振興に関しては、商工業者の経営改善に向けた商工業振興事業補助を継続して行うとともに、新たな雇用創出と就労の安定対策、さらには消費拡大に向けた取組への支援を行ってまいります。

また、仮称「郷の駅きもべつ」を拠点に、本町の農業と商工業の連携による地場製品のイメージアップ、販路拡大に取り組んでまいります。

最近、大きな社会問題となっている金融関連詐欺や、高齢者や若者を中心とした消費者契約トラブルへの対策として、消費者行政活性化事業を実施し、安全で安心な消費生活の実現を図ってまいります。

中山峠の観光関連施設につきましては、経年劣化による事故が発生するなど施設の老朽化が進んでおり、ホテルの重油タンクの新設や旧ユースホステルの撤去などの緊急的な対応を行うとともに、今後に加え、安定的な財源確保に向けた方策を検討してまいります。

### (3) 保健福祉サービスの充実

本町においては、65歳以上の高齢者の割合が3人に1人となり、少子化とともに、その対応が大きな課題となっております。また、医療環境の格差や医師不足など地域だけでは解決できない問題にも直面しており、町民の皆様が住みなれた町で、健康で安心した生活をして暮らせるよう、次の施策に取り組んでまいります。

喜茂別厚生クリニックにつきましては、一層の経営改善を北海道厚生連に求めながら、町民の安心安全確保のため町として必要な支援を行うとともに、町民の利用を呼びかけ、厚生クリニックのスペースを活用した医療・保健・福祉・介護の連携事業に取り組んでまいります。

国民健康保険事業及び介護保険事業については、平成21年4月から後志広域連合が保険者となって実施されることから、広域連合と連携を図り、被保険者の混乱が生じないよう窓口業務の責務をはたしながら、円滑な事務の推進に努めてまいります。

身体や知的、精神に障がいを持つ方への障害者福祉については、障害者自立支援法に基づく支援事業を中心に、障がいを持つ方が地域で安心し、自立して暮らせるよう、広域連携事業や町単独事業を含め、引き続き体制の整備と支援に適切に取り組んでまいります。

地域福祉については、社会福祉協議会をはじめ関係機関や団体との連携や協力体制をより一層密接にするとともに、小さな地域単位での福祉力を醸成するため、町民皆様との協働を基盤とした地域福祉事業の推進に努めてまいります。

新設される多目的町民センターに、保育所・子育て支援センター・放課後児童クラブの3つの機能を集約し、本町で初めて零歳児保育の受け入れ体制を整備するなど、子育て支援の拠点としての機能を高め、

誰でもが安心して子どもを産み育てることができるよう子育て支援の充実を図ってまいります。

また、平成17年3月に、子育て支援に係わる「次世代育成支援行動計画（前期行動計画）」を策定し、次代を担う子どもたちが健やかに生まれ、育つ環境整備の取組みを進めてまいりましたが、平成22年度からの後期行動計画の策定に向けて、前期行動計画の評価を行い、喜茂別町が今後進めていく子育て支援施策の方向性や目標を検討してまいります。

#### （4）人材の育成・コミュニティの充実

本町が当面単独自治体として歩んでいくことになった今日、町民が力を合わせ一丸となり、知恵を出し合って喜茂別独自のまちづくりを進めていかなければなりません。その核となる自治会や各種団体と協力して、明日の地域に希望を持ち、それを適える人材を育むことが重要な課題であります。

このため、各種団体に対する補助金などの在り方について全般的な見直しを進め、様々な団体や個人の活動の活性化などを通して、町としての人づくり、団体の育成に取り組んでまいります。

学校教育、生涯教育に係わる施策については、教育委員会の教育行政執行方針に委ねるところでありますので、私としては教育予算の確保に引き続き最大限の配慮に努めてまいります。

町民が町政を身近に感じることはまちづくりを進めていく上で大切な要件です。町民の目線での広報づくりを目指して設置した編集工房は3年目を迎え、この間、町民の皆様からその内容について様々な評価をいただいております、関心の高さや広報の重要性を改めて認識しているところであります。

オフトーク通信が老朽化し利用者の減少が進む一方で、町民へのインターネットの普及なども考慮し、議会や町民の皆さんの意見をお伺いしながら、町の広報のあり方を検討してまいります。

また、町政の推進に当たり、今後とも各種団体との懇談や各地域でのまちづくり懇談会などの場を通じて、町民の皆様と情報を共有し、相互理解による連携・協力が図られるよう努めてまいります。

### 3 むすび

以上、平成21年度の町政を執行するに当たっての基本姿勢と主要な施策の概要について申し上げました。

わが町のような小規模な自治体を取り巻く情勢はこれまでになく厳しく、重要な課題が山積しておりますが、私は、町民の皆様から寄せられているまちづくりの期待に応えられるよう、誠心誠意努力してまいります決意であります。

町民の皆様並びに町議会議員各位の一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。